

ラッキー・アンハッピー

某大会の会場。客席には多くの観客が詰めかけている。

舞台の緞帳は閉まっており、幕前に司会者がマイクを持って現れる。

司会者

皆さん、長らくお待たせいたしました。いよいよファイナルステージの開幕です。久々の開催となった今大会。チャレンジャーたちを阻む幾多の試練、幾多の障害を乗り越え、ついにここファイナルステージへと辿りついた最後の挑戦者たちをお呼びしましょう！ 挑戦者、入場！

派手な出囃子と共に緞帳が開き、続いてファイナルステージ進出者10名が勢よく現れ、縦一列に並ぶ。

司会者

おっと、見づらいので横に並んでください！

進出者10名は指示に従い、横一列に並ぶ。うち、一人には尻尾が生えている。

司会者

個性あふれる10名の挑戦者たちが揃いました。ヒゲの濃い者、ぽっちゃり体型の者（など、特徴を述べていき）……一人、尻尾を生やしてる者もおります。可愛いとも思っているのでしょうか。さて、ファイナルステージの前に、脱落者の皆さん！

司会者が呼び掛けると、客電が点く。客席には多くの脱落者たちがいる（はず）。

司会者

こちらの客席にはファイナルステージに届かず、予選ではかなく散って行った負け犬たちが座っております。真ん中の通路より後ろは、ファーストステージしよっぱなの池に速攻で落ちて死んだ方々です。ちよっと、お話を伺ってみましょう。

司会者は客席へと降りて、脱落者の一人に近寄る。いきなりマイクを向ける。

司会者

……なんか喋って。

※観客の反応次第だが、1分ほど司会者とやりとりする。

司会者

さあ、不毛な時間も終わったところで、本筋に戻ります。優勝の栄冠を手にし、2億5千万分の1の頂点に上り詰めるのは、この中の誰なのか！ そして優勝者には！

音楽と共に、ドレス姿の美しい女性・ランが小さな旗を振って入場してくる。

司会者

こちらのご令嬢、ランちゃんにアタックする権利が与えられます！

ランは舞台奥の椅子に鎮座する。

司会者

……では、ファイナルステージ……本大会のラストを飾る闘いは、ご存知！ 「バトルロイヤル・フラッグス」で決着をつけて頂きます……。私の「GO!」の掛け声とともに走り出し、途中、例えどんな手を使っても、ランちゃんの持つゴールフラッグを掴みとった方が優勝です！ では、挑戦者の皆さん、スタートラインにお並びください。

10名の挑戦者たちがスタートラインに並び、「ビーチ・フラッグス」のスタートのように、うつぶせになる。

司会者

セット！

挑戦者たちは顔を伏せる。

司会者

GO!、って言ったら走り始めて下さい。

ひっかかって立ち上がっていた挑戦者6名は、無言で司会者を殴り、再びスタートラインにうつぶせとなる。

司会者 セット……GO！

挑戦者たちは一斉に走り始める。司会者はレースの実況を始める。

司会者 さあ、一斉にスタートいたしました！

尻尾を生やした男は、一人で勝手に転んで客席の方へと消えていく。

司会者

が、いきなりこけたー！ シッポがいきなりこけたー！ あつと間に離されて行きます！ さあ、間もなく最初の障害エリア、「ハードルエリア」に突入いたします！ 前方の床からハードルが次々と飛び出してきました！

9名はそれを飛び越えて進んでいく。

司会者

それをみな飛び越えていく！ つと、ひっかけたー！

3名がハードルを飛び越えきれずに、転んで脱落し、消えていく。残り6名。

司会者

脱落ー！ さあ、ハードルエリアを駆け抜け、続いているエリアは、「ハンマーエリア」！大きなハンマーが頭上から彼らを襲います！ しかし、避けていく！ 避けながら高速で走り抜けていく！ と、振り下ろされたハンマーを奪った！ そして隣の奴を吹っ飛ばしたー！

3名がハンマーでぶつ飛ばされ消えていく。残り3名。

司会者

まさにバトルロイヤル！ 勝ち残ったものが正義であります！ さて、「ハンマーエリア」を抜け、今度は「モンスターエリア」だ！ さあ前方からモンスターがやってきます！ 白くてぶよぶよしたモンスターどもが彼らに襲いかかる！ 吹っ飛ばしながら、殴り飛ばしながら道を切り開いていく！ おーつと、一人捕まったー！ ふりほどこうとするが、これはダメだー！ 飲みこまれたー！

やがて、挑戦者は最後の二人となり、並走してランの目前までやってくる。

司会者

さあ、ゴールフラッグは目の前！ 勝利を掴みとるのはどっちだー！

と、二人は徐々に減速して立ち止まり、対峙する。

司会者

2人の足が止まったー！

2人の叫び声とともに音楽。スローモーション。

挑戦者二人は殴り合いを始める。

その隙に、最初に転んで脱落したかに見えた男が追いついてきていて、殴り合う2人を押しのけて、ゴールフラッグを手にする。

司会者

なんと優勝はお前ー！

セイイチ

セイイチと言いまーす！

司会者

勝因は何ですかー！

セイイチ

運、だと思いまーす！

司会者

セイイチくん、ランちゃんにアタックチャレンス！

ランちゃん、僕の愛を、受け入れてくださいー！

セイイチ、ランに飛びつく。ランのドレスを脱がす。

司会者

アタック、成功ー！（去る）

セイイチ・ラン

合体！

ラッキー・アンハッピー

音楽。先ほどの挑戦者たちがダンサーとなり、踊り出す。中心にいるセイイチとランは、ダンサーたちが持ってきた一着の大きな服を着させられ、二人で収まる。

セイイチ
ラン
どんなことがあっても、君を幸せにするよ！
お願いします！

ランはどこからか風船を取り出し、それを二人で膨らまし始める。
風船はどんどん大きくなっていく。

と、司会者が再び現れ、

司会者
STOP！

音楽が止まる。一同、びつくりして司会者の方を見る。

セイイチ
司会者
セイイチ
ラン
はい？
ストップです。

みなさん、一旦落ち着いて下さい。

え？

一旦、落ち着いてください。

いやいや……音楽お願いします。

音楽が始まる。

司会者
セイイチ
ラン
音楽ストップ！（音楽止まる）いいですいいです。しばらく出さなくていいです。なんなんすか？

一緒に踊りたかつたんですか？

いやいや、これからちよつと、真面目な話するので。

真面目な話？

真面目な話の時、音楽とかちよつと、嫌だから。メリハリつけないと。誰なんですか。

司会者は手に持っていた書類を掲げ、

司会者
ラン
先日の血液検査の診断結果が出ました。

……え。血液検査？

ああ、あなたは気づいてないと思います。母体の話なんです。

母体？

えつと、だから、何の話なんですか？

司会者は、白衣を着て「医者」となる。

医者
ラン
落ち着いて聞いて下さい。残念ながら、染色体の異常が認められました。

間。

ラン
染色体？

医者は、風船を取り上げる。

医者
人間の染色体は2本一組で23対、計46本の染色体で構成されています。ですが、今回調べましたところ、うち1対の染色体が3本組となっています。

セイイチは自分の尻尾を手取る。

セイイチ
……3本。

ラッキー・アンハッピー

ラン ……つまり、どういうことですか？
医者 ……つまり……先天性の障害をもっているということです。命に係わるものではありませんが。

沈黙。

セイイチ ……どうすれば治るんですか？
医者 治すことは出来ません。
セイイチ もう一度レースをはじめからやり直すことは出来ません。一度合体してしまったものを、分離することは出来ません。
ラン ……じゃあ、どうしたらいいんですか？
医者 ……この先、どんな困難があるのか、どんな障害が待っているのか、それをお伝えするとは出来ません。しかし、あなた方がそれを乗り越えられるかどうかについては、私には判断しかねます。
ラン そんな無責任な
セイイチ ていうか、その診断ってどれぐらいの確率で
医者 約99%の高い精度で信頼できるものです。検査前にもご説明致しましたが。
セイイチ え……？
セイイチ 今後については、お二人でお話になってみてください。
二人で？

ダンサーたちはセイイチとランが着ていた服を剥ぎ取る。

医者 それでは。

ランとセイイチを残し、医者とダンサーたちは去る。

セイイチ ……ごめん。
ラン え。
セイイチ ……僕のせいだ。
ラン やめてよ。そんなの分からないでしょう。
セイイチ 分かるんだ、何となく。ごめん。
ラン やめて！
セイイチ ……。
ラン どっちのせいとか、今どうでもいいから。
セイイチ ……そうだね。

沈黙。

セイイチ どうしようか。
ラン ……どうしようって？
セイイチ だから、二人で話してみたって言われたから。
ラン ……何について？
セイイチ 何って、今後……。
ラン 「今後」の何？
セイイチ ……言いづらいけど……んーと……中絶するかどうかってことでしょ。
ラン ……そっちのこと？
セイイチ そっちって……他に何のことがあるの？
ラン ……今後、どうやってこれを受け入れる体制を整えるかってことだと思ってた。
セイイチ 受け入れるって……産んで育てるってこと？
ラン そう。
セイイチ あー……ていうか、その前にまず産むかどうかを産むよ。
ラン ……。
セイイチ ……だって……私が死んじゃうとかだったら、さすがにそれは私だって考えざるを得ないけど、そうじゃないから。自分の命じゃなくて、子供の命だから。
ラン ……うん、まあ、それは分かるけど。
セイイチ うん。
セイイチ ……でもさ、そしたら、なんで検査受けたの？

ラッキー・アンハッピー

間。

ラン ……なんでって、
セイイチ 検査して、異常が見つかった場合に、どうしようと思って受けたの？
ラン 覚悟するために……。
セイイチ 覚悟って何？

ラン ……万が一の時に、そういう子が産まれてくるんだって覚悟するため。
セイイチ ……僕は、てっきり……
ラン やだよ。

セイイチ やだって言われてもな……。
ラン やだから。

セイイチ やだとか、そんな気持ちだけで決めることじゃないと思うんだけど。
ラン ……じゃあ、何で決めるの？

セイイチ それはだから……生まれてくる子が、不幸にならないかどうかって
ラン そんなの、

セイイチ 僕は、現実的に考えて、正直、生まれてくる子が可哀想だと思う。

ラン それって私たちが決めることかな？

セイイチ 僕らが考えるべきことだよ。

ラン そんなの考えたって

セイイチ (少し声を荒げ) 僕ら以外に誰が考えてやれるんだよ!?

ラン ……。

セイイチ ……ごめん。

ラン ……本人が考えることですよ。

セイイチ え？

ラン 幸福か、不幸かなんて、本人しか考えること出来ないよ。本人が決めることだよ。

セイイチ ……それって、何年後の話？

ラン ……。

セイイチ 本人が自分で考えられるようになるのって、いつの話？ その時まで待っても、やり直し
ラン なんかきかないんだよ？

セイイチ 分かってるよ……。

ラン その時、もし不幸だって本人が考えたとして、絶対に後悔したりしない？

セイイチ 不幸だって思わせないように努力する。

セイイチ ……正直、僕は自信無いよ。

間。

ラン ……私だって自信無いよ。

セイイチ そしたら、

ラン ごめん、本当のこと言うと、検査受けるの決めた時は……もしも異常が出たら中絶しよう
って思ってた。……でも、やっぱりね、無かったことには出来ないんだよ。(お腹に手を当
て)ここにいるんだよ……。

セイイチ ……。

ラン お願い……。

セイイチ

セイイチは、深くため息を吐く。

セイイチ ……もうちよつと、考えよう。

沈黙。

ラン ……いいよ。

セイイチ え？

ラン ……いいよ。私一人で育てる。

セイイチ え？

ラン 別れよう。

セイイチ え？

ラン この子は無理だけど……私たちは別々の人間だから。別れられるから。
セイイチ いや、ちよつと、

ラッキー・アンハッピー

ラン
セイイチ
ラン
セイイチ

そしたら、セイイチくんも不幸背負わなくて済むし。
ちよっと待ってよ、
私は不幸だなんて思わないけど。
いやいや、僕はただ、

ランは走り出す。

セイイチは追いかけるが、すぐにまた一人で転び、やがて遠ざかり、消える。

舞台上ではランが一人で走り続けている。苦しそうな表情。
やがて、足が止まる。肩で息をする。

と、どこからかランの名前を呼ぶ声が聞こえる。

ラン

ん……？

ランの父親が現れる。母親はヒゲをたくわえている。

ラン

お父さん……。

父

うん。

母

……お……お母

母

お母さんよ。

ラン

お母さん、

母

言いたいことは分かっているから。何も言わなくて大丈夫だから。

ラン

……あ、うん。

母

今……更年期でホルモンバランス崩れてこんなますらおぶりだけど、ちゃんとお母さんだ

父

から。

ラン

ほんとに大丈夫なの？

母

大丈夫。こう見えて珍百景にも登録されたから。

父

うん。

母

……ていうか……剃らないの？

ラン

うふふ……昼12時に入念に剃って、15時現在、このざまなのよ☆

母

本当に大丈夫？

ラン

ラン！ 私のことより……あなたこそ……大変だったね。

母

……。

父

うん。

母

担当の先生から聞いたから。

父

うん。

母

……ごめん。

ラン

謝らなくていいから。

母

うん……。

父

うん。

母

あなたのせいじゃないから。

父

うん……。

ラン

誰のせいでもないから。

母

うん……。

父

うん。

母

だから、

ラン

うん……。

父

うん……。

母

だから、今回は諦めよう？

ラン

……え？

父

え、うん。

母

まだ、次があるから。

ラン

次って……。

母

そのために、検査受けたんでもんね。保険効かないから高かったもんね、検査料。

父

うん。

母

別にいいんだけどね。そのためのお金だと思えば。あ、ごめんさい、お金のことばっか

ラッキー・アンハッピー

ランはどんどんと息づかいが激しくなつて行く。
やがて、ランのすぐ背後まで追跡者が迫ってくる。

スローモーション。

と、セイイチがその後ろから急ぎ追いかけて来る。追跡者たちを押しつけ、ランの肩を掴んで振り向かせる。
が、ラン、振り向いてセイイチをビンタ。

痛い！

あ。

……びっくりした。

……何しに来たの。

え、何しに……

今さら何しに来たの。

今さら……いや……ちゃんと話をしようと思って。

……もう、遅いよ。

ああ、ごめん。遅くなつたけど、でもだつて、ランちゃんすごいビヤールつて走つて行つちやつて、で、俺、転んじやつたりして、マキロンとか塗つて、

……

……それで……考えてみたんだよ。僕なりに。

……いいよ。

え？

もう、いいよ。諦めたから。

え？ 何が？

だからもう、いいって！

聞いてよ！

……僕なりに、一生懸命考えたからさ。結論出したからさ。

ラン、セイイチを振り切つて走つて行くとするが、セイイチはランを引き止め、

運がいいんだよ！

……？

僕さ……多分さ……すつこい、運がいいんだよ。

……何言つてんの。

頭もたいして良くないし、腕力も無いし、足も速くないけど……なにせ運がいいんだよ。

うちの家系。なぜだか。うん。あ、今のシヤレじゃなくて。

……何言つてんの？

ほんとだよ？ うちの父親とか、拾った宝くじが10万円当たつたことあるし。

は？

俺も、生まれつきこんな尻尾生えてたのに、いじめられたこととか無いし。むしろ、中学の時とかちよつとモテたし。……だからきつと……多分だけ……その子も運でなんとか切り抜けるんじゃないかと思つて。

……

それに、障得つて言つたつて、命に係わるほどのものでもないなら、言つてみれば個性じやん。尻尾生えてるとか、ヒゲ生えてるとかと同じようなもんだよね。今、お腹の中にこうしているつてことだけで、ラッキーなことだと思ふんだよ！ だから……何ていうか……言い方があれだけど……産んでよ。「うん」つて、言つてよ。

ラン、泣きそうな顔になる。

ラン ……「うん」、とは、ならない。

セイイチ ……え。

ラン ……そんな理屈は通らないよ。「運」だけじゃ、だめだよ……。

セイイチ ……なんで……？

ラン ……だつて……。

ラッキー・アンハッピー

追跡者たちが立ち上がっていく。

追跡者A 生まれたところでどうなんだろう？
セイイチ え？
追跡者B 本当に生まれて後悔しない？
追跡者C 本当に育てていける？
追跡者D 単なるエゴじゃない？
追跡者E 単なる自己満足じゃない？
追跡者F 産まないのも優しさじゃない？
追跡者G 現実を見たほうがいいんじゃない？
追跡者H 今ならまだ、間に合うんじゃない？

追跡者たちは、ランの後ろに並び立つ。
ランは追跡者たちに捉えられてしまう。

セイイチ ……今のは、ランちゃんの心の声？
ラン ……
セイイチ それとも、世間の声？
ラン ……
追跡者A 生まれたところでどうなんだろう？
追跡者B 本当に生まれて後悔しない？
追跡者C 本当に育てていける？
追跡者D 単なるエゴじゃない？
追跡者E 単なる自己満足じゃない？
追跡者F 産まないのも優しさじゃない？
追跡者G 現実を見たほうがいいんじゃない？
追跡者H 今ならまだ、間に合うんじゃない？
ラン ……分らない。
セイイチ ……
ラン ……
セイイチ ……どつちでもいいか。
ラン ……もう、動けない。
セイイチ ……
ラン ……もう、この話はここでおしまい。
セイイチ ……分かった。
ラン ……ごめん。
セイイチ じゃあ、君と話すことにする。
ラン ……え？

セイイチ、ランの目の前で跪き、ランのお腹に向かって話し始める。

セイイチ 聞こえる？ 君の父親です。
ラン ……
セイイチ 君はどう思う？ 生まれたら本当に不幸になると思う？
ラン ……
セイイチ 僕もいっぱい考えたけど、正直いって、きっと不幸になるんじゃないかって思う。
ラン ……
セイイチ だけど……思い出したんだよね。「どんなことがあっても、君を幸せにする」って。そう言
つたんだよね。だから、

セイイチ、ランに背を向けながら、リレー選手のように手を伸ばす。

セイイチ 一緒に行こう。
ラン ……遠いよ。
セイイチ 分かっている。
ラン ……どこにあるのかも分からないよ。
セイイチ 探すよ。
ラン たくさん、障害が待ってるよ？
セイイチ 全部、乗り越える。君と。

ラッキー・アンハッピー

ラン どうやって！
セイイチ 知らないよ！
ラン 知らない!?
セイイチ そんなもの誰も知らないよ！ 障害のない人生なんて無いよ！ それでもみんな「幸せ」
ラン のゴール目指して走って行くんだよ！
……。
君がまだ走れないなら、そこまで僕が運んでいくから！
……。
セイイチ ……信じて。

ラン、セイイチの手を掴み、

ラン ……うん！

音楽。三人、走りだす。
追跡者たちも追いかけていくが、三人はどこまでも逃げていく。

終